

おおとしかわら版 Information

●交流列車おおとしまつり開催!



第8回交流列車おおとしまつりが9/28(土)に開催され、大歳駅舎で定期利用されている方のステージ発表や展示などでまつりを盛り上げていただきました!「かき氷」「わたがし」「バルーンアート」を無料で提供しました。

11時すぎに大歳駅をSLやまぐち号が通過しましたのでみんなで手を振り歓迎しました。お手伝いしていただいた方、まつりに来られた方、毎年ありがとうございます。楽しかったです!

●1自治会1事業報告(河内、馬庭自治会)

10月20日、両自治会共同で山口市の「お気軽講座」を利用して行事を行いました。健康増進課の南さんにフレイルに負けない日常づくりを語っていただき、大変勉強になりました。



●大歳地区一斉清掃報告

10/20(日)に大歳地区一斉清掃を行いました。毎年2,500人以上の住民の方が参加されています。皆様のご努力できれいになりました。お忙しい中ご協力ありがとうございました。



●「大歳の災害の歴史」編集委員を募集

12月2日(月)9時から交流センターで第1回編集会議をします。大歳につきない災害。でもどう減らすために頑張ったのか。現在の内水氾濫をどう防げばよいのか。わかりやすくまとめたいと思います。ぜひご参加を!

●子ども部会 ハロウィンイベント開催

地域の皆様楽しんでもらおうと10月14日(月祝)大歳まちづくり協議会子ども部会運営で大歳ハロウィンイベントを開催しました。参加者それぞれが個性豊かな衣装をまとい、地域の皆さまの笑顔が溢れる楽しい一日となりました。



大歳地区まちづくり協議会子ども部会は、大歳地区子ども会育成者、大歳地区子ども会シニアリーダー、大歳地区主任児童委員がボランティアで運営しています。



行/事/予/定 11~1月

- 11月24日(日) 第25回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会【大歳小学校体育館】
- 11月24日(日) 健康づくり・絆・交流の輪囲碁・将棋大会【大歳地域交流センター】
- 1月 5日(日) 山口市二十歳のつどい【山口市民会館】
- 1月 5日(日) 山口市消防出初式【山口南総合センター】
- 1月19日(日) 第20回山口市駅伝競走大会【きらら博記念公園】

編集後記 大歳フォトコンテストの作品を見せてもらい、力作ばかりと感心した。写真を撮るのが苦手な私にはうらやましい限り。大歳の景色やSL、人物などの一瞬の輝きが愛情を込めて一枚に仕上がっている。人も時代もどんどん変わっていくが、今この大歳の良さをたっぷりと味わいたいものだ。(松本)

まちづくりかわら版

おおとし

2024.11
Vol.90

しっかり歩こう 大歳の道

現在、朝の登校時間(7時半~8時半)は朝田側から石州街道へは、一方通行となっています。

登校時の車の量は半減し、安全な登校への効果が表れるはずですが、小学校前の大歳地域交流センターに、子どもの送迎のための車が次々と駐車され、車の通行量があまり変わらない状況が続いています。

下校時には子どもの送迎のため待機する車がさらに増えます。



元気で健康な子育てとは?

少し気になる資料があります。鴻南中学校で毎年行なう体力調査の結果では、身長、体重、握力だけでなく、**体力テストの結果がすべての項目で、全学年、男女とも全国平均を下回っています。**

また、転んで骨折してしまって寝たきりになるなど、**山口市は高齢者の転倒事故が多く**、その対策が大きな課題となっています。

さらに、国交省などが行なった歩行数の都道府県別調査では最も良く歩くのが1位東京、2位神奈川、3位大阪で、下位は福井、山形など郡部に偏っています。

田舎ほど車依存で歩かない傾向がはっきり出ており、山口市が県庁所在地で一人当たり**ガソリン消費量が最も高い**ことにも納得がいきます。



危ないよ!!

みんなで歩こう6000歩

健康のために毎日6000歩こうといっても、とても大変です。車依存の生活が子どもの成長に悪影響を与えていると考える人もほとんどいません。

でも、せめて歩いて登下校する小学生であってほしい、そうして健康な一生を送ってほしいと親なら願うはず。そうして初めて、歩いて登下校するにはあまりにも劣悪な条件である通学路を安全にしようという熱意も協働も生まれてくるのではないだろうか。



ポイント

- 週に1度は親子で6000歩歩こう!
- バスや電車を利用して外出を!
- お財布にやさしい車より自分の足で歩いて健康改善!

近道と山道(小学校の思い出)

私は毎日4キロの道を登下校しました。高学年になると、山を横切って伸びる山道を探検すれば、近道が見つかるかとも思い、山道探検をしました。でも山道では近道は見つかりませんでした。山道は集落と山を結んで薪や柴をとるための道で、逆に遠回りになることを発見、疲れたけれど物知りになった気がしたものです。探検は人を賢くすると納得したものです。(馬庭在住)



フォトコンテスト

第8回 おおとし 結果発表

カメラから見る大歳地区は、いつもと違う形で大歳の良さを教えてくれます!39点の応募があり、10/11(金)に審査をしました。ありがとうございました。



金賞 「ポストは見た!」 松本 照男
女の子が硬くならないよう声をかけ、自然な姿を撮った。綿菓子を美味しそうに食べている様子を、ポストのキャラクターがまるで「いいね!」と言っているようだった。女の子とポストの可愛いコラボが実現した瞬間である。
評/お祭りの後でしょうか、女の子が大きな綿菓子と嬉しそうに写っています。なんともこの自然な笑顔が良いですね。後ろのポストの表情をタイトルに含ませたのもグッド。いちばん良い表情をいちばん良いタイミングで捉えた、良い写真です。

大歳まつり ポスターコンテスト

☆毎年ステキな作品をありがとう☆
9/13(金)に審査を行いました。今年16作品です♥審査は悩みましたが、最優秀賞3点決定しました!描いてくれたみなさんありがとう!!

●最優秀賞



3年 山崎 陽奈



5年 山縣 由依



6年 内田 賢太郎

「オシャレイズ&ガールズ」 山口総合支援学校

銀賞

地下道の暗がりを利用しました。下の人たちはカメラ目線で、上の人たちはあえて目線をはずしました。真顔にしたり、かっこつけたり、人の位置にこだわりました。みんな楽しんでました。賞がもらえてよかったです。評/みんながそれぞれの決めポーズをして写っていますね。こんな写真が撮ってみたい!というコンセプトを感じる作品です。偶然に出会った一瞬を捉えるのも面白いですが、この写真の様に、作りこんで撮る写真の面白さを感じる作品です。



銅賞 「大歳 朝、田」 甲斐 誠

水田に映る、朝方の反射がとてもきれいでした。いつもの景色が違って見える時間を、写真に収めました。

評/紫がかった空とその中の星と街灯の灯り、そして朝の静けさを感じる色彩の中に、唯一「音と動き」を感じさせる車の残光が捉えられています。静けさの中にこの残光がコントラストの様に浮き上がっています。シャッターを長めに開けたから撮れた写真でしょう。写真という一瞬を捉えられる芸術の、その良いところを感じる事ができる作品です。



大好評!

Welcome Ootoshi

大歳の気になるお店 Vol.32

ヴェシカ

セレクトショップ VEHICICA



今回は若宮町にあるVEHCICA(ヴェシカ)を訪ねました。前の道路を通ると気になっていました。特に看板も見当たらないけど「open」の表示があり、入るとワンピースやブラウス・カバン・皮小物などが並ぶおしゃれな空間でした。

女性オーナーのスネさんによると、ヴェシカの店名は、飼っていた犬の名前と、息子さん3人の名前の頭文字を組み合わせて作られたとか。

お店を始められて14年目になりますが、以前は泉町のコープの近くだったそうで、今のところに移転して約6年目、3種類のオリジナルの紙袋は、息子さん達が子どもの頃書かれた絵を使われており、それを見たら思い出される方もいるそう。

お店の壁には、世界中に壁画を描いているというフランス人の若者が、昨年この店に立ち寄り、祇園祭のイメージを描いたという絵が目を引きました。

お洋服の着こなしや組み合わせなど、どんどん聞いてくださいとのこと。ゆっくりと覗いてみると、おもしろいですよ!!



写真で見る 大歳今昔

Vol.21

桜の名所 千代丸橋

大歳地区は、榎野川と吉敷川に挟まれた平地に広がっています。そのため、地区から出るためには、どうしても橋を通る必要があります。榎野川には、上流より豊年橋、秋穂渡瀬(あいわたせ)橋、石津橋、高田橋と四つの橋があります。

吉敷川には、上流より湯田橋(吉敷地区との境)、二斗代(にとしろ)橋、千代丸(ちよまる)橋、黒川橋、供有(きょうゆう)橋、大歳橋と六つの橋があります。

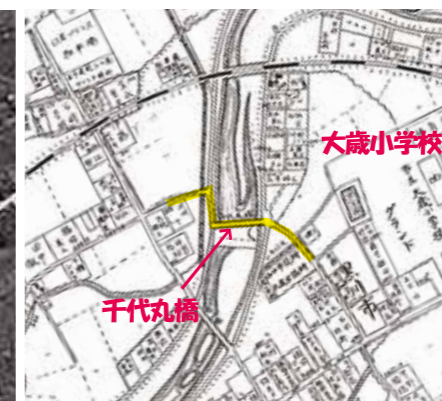
その中で大歳小学校の近くに架かっているのが、千代丸橋です。

吉敷川の土手に向かって登ったところにあります。橋からは、山口線の鉄橋が見え、その奥に維新みらいふスタジアムがあります。桜の頃には、吉敷川の土手の桜が咲き誇り、鉄道と桜を撮りに多くの人がやってきます。

現在の千代丸橋 (google mapより)



昭和22(1947)年米軍撮影航空写真(千代丸橋と井堰)



昭和40年頃 ゼンリンの地図

千代丸橋からみた「瑞風」(フォトコン応募作品)



榎野川と吉敷川からの用水は、大歳地域をこれまで潤してきました。千代丸橋にも井堰があり、吉敷川右岸を潤してきました。現在は、油圧可動式堰になっていますが、60年前は簡単な井堰だったようです。この井堰を飛び越えながら対岸に渡ることができたようです。たまに川に落ちることがあったと聞きました。今では、考えられないことです。

参考:ふるさと大歳(平成8年3月:大歳小学校発行)